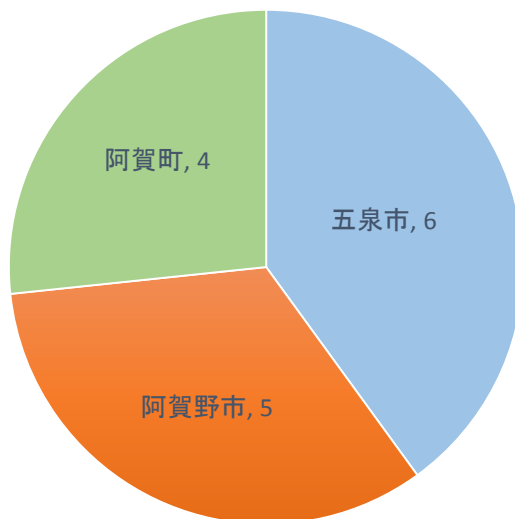


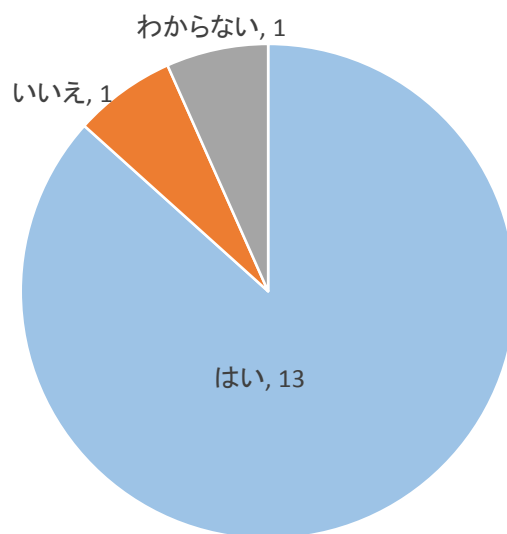
## 第2回検討委員会の視察研修におけるアンケート集計結果

Q1. あなたのお住まいは？

(回答者数 n=15)



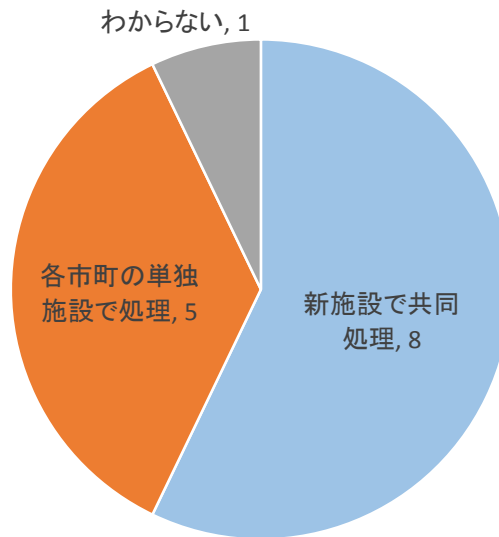
Q2. プラスチック製容器包装を分別することでリサイクルを推進できると感じたか？



### 【集計結果】

大多数を占める13名が「はい」と回答しており、プラスチック製容器包装の分別はリサイクルの推進には有効と感じているようである。

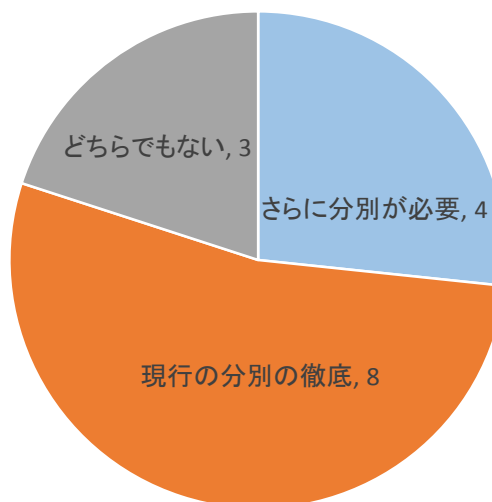
### Q3.資源ごみの中間施設はどのような形がよいか？



#### 【集計結果】

「新施設で共同処理」という回答が、半数以上の8名となっている。また、各市町での単独施設で処理が5名という結果であった。

### Q4. 資源化のための分別収集の対応について

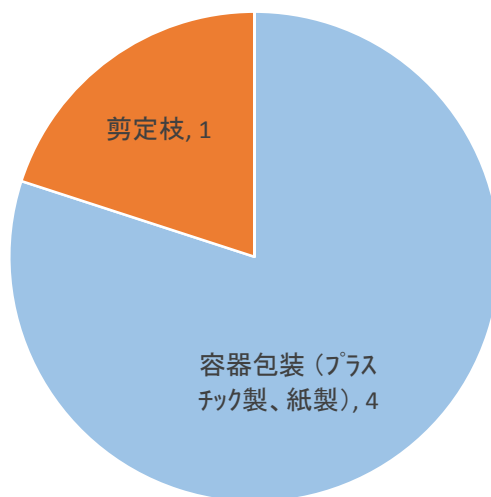


～半数以上が現行の分別の徹底と回答～

#### 【集計結果】

半数以上の8名が、各市町での現行の分別を徹底すべきだと回答しているのに対し、全体の4分の1である4名は「さらに分別が必要」と回答。

Q5. 設問Q4で「さらに分別が必要」と回答した方で  
どのようなものを資源化すればよいか？



複数回答があり、Q4.  
の回答者数とは異なる

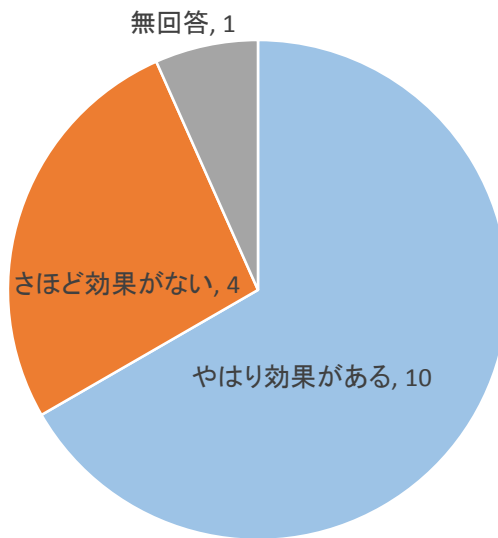
【集計結果】

阿賀野市の委員3名と五泉市の委員1名が容器包装の分別をすれば資源化につながると回答しており、そのうち1名が剪定枝の分別も資源化につながると回答。

Q6. 設問Q4で「どちらでもない」と回答した方のご意見

- 環境性、経済性とLCCCO<sub>2</sub>や地域特性（高齢化・独居）との兼ね合いを図る必要がある。
- 住民の高齢化に対する手段を考慮しては？（例えば、分別する人と分別しないでごみを排出できる人を色別の有料袋で区別して、施設で分別する。）
- 資源化、リサイクルは税金の無駄ではないか。燃えるごみと燃えないごみの2種類でシンプルに。（高齢者にも優しい。）

## Q7. 家庭ごみの処理手数料の有料化について



～全体の3分の2が、ごみの有料化は排出抑制に対して効果があると回答～

### 【集計結果】

家庭ごみの有料化については、10の方が排出抑制や資源化に対して効果があると回答しています。

## Q8. 自由意見まとめ

- ・分別の徹底が基本であり、ごみの減量にも繋がる。
- ・分別をもっと厳しく。
- ・缶、びん、包装容器などを分別して排出したらお金が戻ってくるシステム。
- ・各家庭に収集のやり方等を考えてもらい、ごみは必要最小限にするよう努力してもらう。
- ・現在でもごみの出し方や分別も正しく徹底されていないように思う。「さらに細かい分別」については、住民の高齢化、収集、運搬コストの増加を考えると難しいと思う。遠い阿賀町からだと、なおたいへんだと思う。
- ・環境負荷と費用対効果を勘案すると、プラスチックの分別徹底には疑問がある。
- ・住民の理解を得られるような丁寧な説明が不可欠である。また、ごみの出し方等を徹底するためにも施設見学も大切なことだと思います。
- ・すでに行っているところもあるようだが、住民に直接説明をする、地区毎の結果を公表するなど、ごみの分別に対する意識を向けさせる。
- ・資源化の問題に関係なく、ごみ処理手数料の有料化は必要である。
- ・ごみ処理手数料の有料化による効果は、他の市町村でも結果が出ているので効果はあると感じますが、全て有料ではなく、阿賀野市のように一定量まで無料を希望します。